

保育部会 主任研修報告書

浜田市保育連盟会長 山 崎 央 輝			保育部会長 宮本 ゆかり		
開催日時	令和6年6月14日	開催場所	浜田市総合福祉 センター大会議室	記録者	れんげ保育園 宮本 ゆかり
	13:30~16:30				
出席者	加盟園18園(25名)			欠席者	うみかぜ保育園

令和6年度の主任研修は、昨年同様に対象を主任保育士・副主任保育士・専門リーダー保育士として開催しました。

- 講 師：新宿せいが子ども園
森口 達也先生
- 内 容：「見守る保育」（子ども主体の保育）について

〈参加者の感想より/受講して感じたこと・ポイント〉

- ・情熱的な先生の講演にパワーを頂いた。
- ・エネルギッシュなお話が楽しくてわかりやすく、3時間引き込まれた。
- ・内容のたくさん詰まった研修だった。
- 園の他の職員にしっかり伝えたい。
園の全職員に伝えたい内容だったので、もっと多くの職員が聞ける機会があったらいいと思った。
- 「主体性が大切」と言われているが、実際にどういうふうにするか、迷ったり、悩んだりしていた。お話をお聞きして、具体的に“こういうふうにしたらいいんだ”とよくわかった。大ヒントを得た。
- 年齢別に発達の特徴や対応・関わり方など、事例を通して聴くことができた。また発達に合った環境なども、写真を見ながらの解説の1つ1つがわかりやすかった。
自分の保育や、保育園の環境を見直すきっかけになった。
- 明日から、やってみたい、やってみようと思った。
- ①保育の目的は、子どもの発達の保障をすること
②そのための方法として 主に”子ども主体”と”子ども同士の関わり”について学んだ。

● **子どもの主体性を引き出すには、大人の関わり方が大切**

応答的な関わり…反応を返していく。

頼まれたらやってあげる（頼まれなかったら、手を出さない）

介入しすぎない。

子どものサインに応じてあげる。（子どものサインを見逃がさない）

共感した声掛け

● **子ども同士の関わりを大切にする保育**

生きていくために必要な力は子ども同士の関わりから育つ。

子ども同士が関わることで共感力が育まれる。

● **環境作り**

発達にあった環境・自分で選べる環境(選択する)を用意する。

● **チーム力**

個人之力では、限界がある。

チームの力がないと、「子どもを理解する」ことができない。

いろいろな人の意見を聞く。

保育現場での目線で、具体的な事例や、写真・動画をたくさん取り入れて下さった研修で、とても分かりやすく、共感できることがたくさんある内容でした。

それぞれの参加者が園に持ち帰り、職員の方たちと「保育の目的は、子どもの発達の保障をすること」を共通認識した上で、各園の環境にはそれぞれ違いがありますので、自分の園でできる環境作りや、保育士の関わり方・子ども同士の関わり方の大切さを意識していくことで、保育も「子ども主体」へ、そして子どもの姿が変わっていくのでは…と思いました。

森口先生の研修を受ける機会をまた設け、より多くの職員の皆さんと共感し合いたいと強く思いました。

★6月14日（金）、主任保育士・副主任保育士・専門リーダー保育士を対象に主任研修を開催しました。

講師に新宿せいが子ども園の森口達也先生をお迎えして、「見守る保育」（子どもの主体の保育）について学びました。



保育の目的は、「子どもの発達の保障をすること」を前提に、具体的な環境づくりや、保育士の関わり方・子ども同士の関わり方の大切さを、先生の情熱的なお話で伝えて下さり、内容のたくさん詰まった研修でした。

「悩んでいた“子ども主体の保育”に大ヒントを得た研修でした。」の嬉しい感想がたくさんありました。